

グループ会社

徹底解剖

SUENAGA Group各社を毎号徹底解剖してご紹介。
実は知らないあんなことやこんなことを教えてやります!

今回は「岡山通運株式会社」をご紹介!

会社名	ロゴマーク	代表者	従業員数	
岡山通運株式会社	運 岡山通運	取締役社長 末長範彦	199名	
所在地	TEL	FAX	創立	webサイト
岡山市中区新築港9-10	(086)276-8200	(086)276-8010	1947年11月7日	岡山通運 検索

営業所	岡山通運の強み	立地の良さ	ぜひ一度ご覧ください! 岡山通運のCMは こちら
■本社営業所 ■西岡山営業所 ■水島営業所 ■大阪営業所	中四国における交通の結節点、岡山の恵まれたロケーションを最大限に活用。トータル物流サービスの提供を実現しています。	立地の良さ	

会社の自慢

由緒正しい証の 運マーク



長い歴史をもち、知名度と社会的信用性が高い物流業者の証。

鉄道を利用して輸送する貨物の集配や積み卸し、取り次ぎなどを請け負う通運業者は、公益性の観点から免許制度がとられ、参入や離脱などで規制を受けていました(通運事業法、昭和24(1949)年公布)。岡山通運は同年11月に岡山駅通運事業免許を取得。運マークは通運免許を第一期に与えられた通運業者が使用できるマークと認識されています。

トラックだけじゃない!! モーダルシフトへの取り組み

鉄道とトラックを組み合わせるなどのモーダルシフトをさらに進め、環境負荷の軽減に取り組みます。

4つの輸送手段

東西南北に延びる高速道路網、鉄道網、岡山桃太郎空港、水島港(国際拠点港湾)といった交通の要衝に4つの輸送手段を取り扱い、事業拠点を設置。



国内外に広がるネットワークを駆使し、お客様に最適なサービスを提案しています。



迅速な対応を実現するために、社内に通関士が在席。通関業務のスピードアップを図るために、NACCS(貨物通関情報処理システム)も導入しています。

SUENAGA Groupの「S」は「Sustainable」を意味しています。岡山通運はいち早く環境問題や社会への活動を取り入れています。

法律より厳しい!? 社内ルール!

岡山通運のトラックルール

一般道は法定速度以内
高速道路は80km以内

最高速度は厳格に設定し、左側車線を走行するように決めています。



車両動態管理システム(デジタルタコグラフ)、ドライブレコーダーを導入。車両の位置や速度、走行時間など、様々なデータをタイムリーに管理。事務所が把握できる体制を整え、安全性を高めています。

トラック長寿命のヒミツ

走行100万km以上!?

現役で走るトラック達のヒミツ

自社整備工場があるから予防整備で長寿命。



岡山通運では大型から小型、特殊な車両まで、多彩なトラック134台を保有しています(2021年1月現在)。岡山を起点として500kmから600km圏内をメインに輸送を行い、1ヶ月の走行距離は平均1万kmにのぼります。中には総走行距離が100万kmを超える現役選手もいるようです。



岡山通運とグループ会社の関係

グループ連携?昔からやってましたよ!

SUENAGA Groupは、グループ各社の力を生かすべく、本格的な活動を開始しています。

岡山通運はもとよりグループ内における物流部門を担い、連携を図ってきました。

岡山トヨペット・トヨタL&F岡山

納車や引取りといった車両の移動を岡山通運のキャリアカーで行っています。ハイエースを専用車に仕立て、岡山トヨペットの各店舗間の社内便も運行しています。



岡山土地倉庫

岡山土地倉庫との連携で受け入れ可能貨物量を拡充。物流2社として保管や運送などにおいて協力関係を確立しています。



今後も物流を通じて、いろいろな形でグループ連携の強化に取り組んでいきます。

私たちの業務内容

全員がスペシャリスト

岡山通運では3年から5年ぐらいの間隔で部署を異動する人事を行っています。



トラック



鉄道



航空・海上



倉庫・作業

上記の各事業所でトラックやフォークリフトの運転、各種作業、引っ越し、営業など、いろいろな経験を積み、実力を養える環境を整えています。荷物の積み卸しで人手が足りない時は総出で対応することも珍しくありません。

実は…

請負作業もしています!

工場内に常駐し、入出庫作業や在庫管理などの業務も行っています。

Challenge and Changeを体現しながら、全員がスペシャリストとして活動しています。

